

# 第1回定例会 一般質問

# 区政をただす

## 特別支援教育のスタートに

### 万全な準備とサポートを

自由民主党・民社クラブ 大内 しんご



本年4月から、特別支援教育が始まる。区として実証的な研究を進めていると聞くが、①全小中学校において校内委員会の設置およびコーディネーターの指名は済んでいるのか。②教員への研修体制は。③校内委員会などの学校をサポートする巡回相談は、どのように行われるのか。④保護者や区民への理解啓発は、どのように行うか。

#### 教育長

①18年度中に全校で完了する予定である。②研修会を実施したほか、個別指導計画の作成、事例研究などによる研修を行ってきた。今後、夏季休業中に全教員を対象に研修会を実施する予定である。③非常勤の臨床心理士や必要に応じ医師、教員などにより構成される「(仮称)支援スタッフ」を教育委員会に設置し、支援を行う。④パンフレットなどの作成やホームページへの掲載を行う。保護者に対しても機会を捉え、学校の取り組みを説明する。

#### 子どもの安全を守る

#### 地域安全マップを充実せよ

三鷹市の「地域安全マップ」

専門家の意見や最新の知識なども踏まえて、共通の視点や表示を工夫しながら充実を図っていききたい。

#### 1日も早い野方駅北口開設への努力を

野方駅北口の用地取得が一部で移転補償額などの折り合いがつかず、進んでいないと聞く。区の用地買収の補償に關する考え方は理解できるが、利便を受ける区民の多いことを考慮して、早期解決を目指すためにも常識を逸しない範囲で補償額の上乗せを検討し、その考え方を区民に説明し理解を得るべきでないのか。

#### 区長



地域安全マップづくり

得に当たっては、区民に理解の得られる基準の中で地権者や借家人の方々のさまざまな条件にも相談に乗るなどの対応をしてきており、引き続き交渉をしていきたい。

#### 学校施設の

#### バリアフリー化推進を

公明党議員団 久保 りか



①国の指針は、既存学校施設に、トイレの整備、スロープやエレベーターなどの設置が重要としている。統合新校7校のうち5校は、既存の校舎を改修し利用するが、現在はスロープやエレベーターがなくバリアフリー化を推進する必要がある。計画はどのようになっているのか。②建築後50年を経過し、改築期を迎える学校の改築計画はどうなるのか。



学校に設置されたスロープ

された建物が音を遮へいし、反射するためと理解している。増設については、個々の状況を確認し、緊急に対応が可能かどうか調査したい。

#### 区民健診の充実を図れ

①区民健診を土日や夜間などに受診できるようにすべきでは。②乳がん検診は、マンモグラフィによる精密検査を行っているが、超音波検査も導入し、状況により選択できるようにすべき

#### 貧困と格差を是正し

#### 健康で文化的な生活を

日本共産党議員団 長沢 和彦



区長の施政方針説明では、社会保障制度について、「負担と給付の議論に基づいた、持続可能で安心な制度づくりが求められている」というのがこの間「持続可能」の名で行われてきたのは、区民の負担増とサービスの給付減である。「構造改革」が多くの区民にもたらしたものは、貧困と不安でしかない。「健康で文化的な生活」を保障した憲法25条の立場で区政運営を行っていくことが、区長の口からきちんと述べられるべきではなかったか。また、国と自治体には、貧困と格差を是正する役割があるが、この問題に触れていないのはなぜか。区長には、国の政策・方針によって押し付けられた貧困と格差にあえぐ区民が目に入らないのか。見解



公園でのゲートボール

誰もがその能力を生かして働け、誰もが再チャレンジできる環境を整えることが大切であることを基本認識として述べた。その上で、自治体として特に今後力を入れるべき施策について、子育て支援策の充実など具体的にお示しした。

#### 区独自の負担軽減策を

06年度に高齢者を襲った増税と負担増に対し、区は激変緩和の措置を設けただけで、根本的な手立ては講じられていない。「住民福祉の機関」である自治体として、国が廃止したものを区独自に復活させ、高齢者の負担増を抑える努力が必要だ。そこで、区民税の非課税限度措置を区条例に盛り込むことを提案する。65歳以上の高齢者で、前年の合計所得が125万円以下の場合、非課税にするものである。見解はどうか。

#### 駐車場部分を活用し

#### 「東ノランド」の継続を

民主クラブ 酒井 たくや



東中野5丁目用地

東中野5丁目の「東ノランド」は、当初、地域センター・保育園・児童館の複合施設用地として取得したものを、計画変更のため、乳幼児親子事業、子どもの遊び場、高齢者のグラウンドゴルフ場などに暫定利用してきたものである。現在駐車場として一部の部分も暫定利用されているため、保育園整備後は、駐車場部分を活用して「東ノランド」の運営を継続してはどうか。

区長 子どもの居場所確保は、当該用地でなく、東中野小学校や公園などを活用して遊び場機能の展開を図る。また、新たに開設する保育園は、乳幼児親子が利用可能な施設とする予定である。

副区長は3人必要か 地方自治法改正に伴い、区は副区長の定数を3人とする条例を18年第4回定例会に提出し、可決された。今定例会で審議しても間に合うはずだが、特に急ぐ理由はあるのか。人口規模も財政規模も大きくない中野区で、なぜ3人も必要なのか。職員削減を進